

市民の皆様へのメッセージ

(5月25日 千歳市長メッセージ)

市長の山口です。

市内で5月24日に新型コロナウイルス感染症の感染者が、新たに4名発生いたしました。

2名は5月21日に発症した50代男性（医療機関職員）の同居者で、他の2名は40代女性と70代女性ですが、感染経路などの詳細については不明で、目下調査中です。

北海道の緊急事態宣言が解除されることを目前にして、本市においてなお、感染者が出たことを大変憂慮しているところです。

一刻も早く接触者などの調査を行い感染の連鎖を断ち切るため、保健所と連携して取り組んでまいります。

新型コロナウイルスは「見えない敵です」。

いつ、どこに潜んでいるかわかりません。

感染を防止するには、一人一人の注意(3密を避ける、マスクの着用、手洗いの励行、人との距離を保つなど)がとても重要です。

市民の皆様の一層の注意をお願いいたします。

市民の皆様への情報提供は重要だと考えています。

これまで、市のホームページや広報ちとせ、記者会見などで都度お知らせしてきましたが、今後はより迅速に、こまめな情報提供に努めてまいります。

このことから、5月20日と5月22日に、千歳商工会議所など3経済団体、千歳市町内会連合会、千歳市社会福祉協議会など8市民団体等、千歳消費者協会、千歳市女性団体協議会などの3団体に対し、これまで取り組んできた感染に関する情報や医療体制について、また、市独自の経済支援の内容、

今後の取組の予定などについて情報提供し、意見交換いたしました。

また、5月19日に私から、市民向け・児童生徒向けのビデオメッセージを作成し、YouTube（ユーチューブ）を通じ発信し、医療従事者や介護職員の皆様が危険に立ち向かいながらも、身を賭して働いていただいていることに感謝し、また、子供たちには開校までもう少しの我慢をし、元気に過ごしてくれることなどをお願いしました。

更に5月21日に「広報ちとせの号外」として、情報誌「ちゃんと」に折り込み、全世帯に配布いたしました。

その中で、新型コロナウイルス感染について、日頃から市民の皆様が知りたいと思っていることや、疑問なことについて「Q&A方式」で16問回答しています。まだご覧になっていない方は、市ホームページの「新型コロナウイルス感染症関連情報」を検索してください。

次号は、来月上旬に配布される「広報ちとせ6月号」に折り込み、「Q&A第2弾」として発行いたします。

新型コロナウイルス対策は、長期に亘ることを覚悟しなければなりません。

今後は感染を防止しながら、一方で、日常の生活や、通常の事業活動を徐々に取り戻していくこととなります。市としても、市民向け・事業者向けの市独自の経済支援策を追加で講じるなど、市民生活を支援してまいります。

新型コロナウイルスと共存していくためには、生活において、職場や学校において、また、飲食や娯楽、スポーツを楽しむときも、新たな生活様式(3密を避け、マスク着用、手洗いの励行、人との距離を保つなど)をしっかりと身に付け、感染防止に努めながら、治療薬やワクチンなどの医薬が確立するまで頑張らなければなりません。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。